

平成24年4月27日

商工部新産業・技術振興課
内 線：3736, 3737
直 通：643-3448
担 当：水素班 入江、大川内

燃料電池自動車の普及に弾み！

水素エネルギー製品研究試験センターが水素貯蔵タンクの試験設備を増強！

～経済産業省「イノベーション拠点立地推進事業『先端技術実証・評価設備整備費等補助金』」に4月27日採択～

- 福岡県では、他の地域に先駆けて水素関連技術の集積と産業の育成を図り、水素エネルギー・燃料電池分野を本県の成長産業にするため、「福岡水素戦略（Hy-Lifeプロジェクト）」※₁を展開しています。
- このたび、水素エネルギー新産業の育成・集積を図る中核拠点『公益財団法人水素エネルギー製品研究試験センター※₂（HyTReC：ハイトレック）』は、経済産業省の補助事業※₃を活用して、燃料電池自動車や水素ステーションで用いる大型水素タンク（蓄圧器）の性能評価を行う試験設備を導入することとなりました。この試験設備は、タンクの内部に実際に使用する圧力を繰り返しかけることで、製品の開発、改良に欠かせない耐久性試験ができます。
- ハイトレックは、水素関連製品の性能評価試験を行う全国初の公的施設です。従来、高圧水素ガスを用いた試験は、自社で試験装置を持つ大手企業以外は海外の機関に発注する必要があり、高額の試験費用が中小・ベンチャー企業の参入の障壁となっていたこと、秘密漏洩の懸念といった問題がありました。製品試験センターはこれらの問題を解決するために2010年4月に開設されました。これまでにバルブやセンサー等の水素関連製品の試験を193件（2010年度51件、2011年度142件）実施しており、自動車メーカーや、水素供給事業者の製品開発に大きく貢献しています。
- 現在、産業界では2015年の燃料電池自動車の普及開始※₄に向けて、車載用水素タンクの開発や水素ステーション用大型水素蓄圧器（タンク）の開発が急ピッチで進められています。
- 今回の設備整備により、ハイトレックは製品試験を通じて燃料電池自動車普及開始に向けた企業の製品開発に大きく貢献します。
- 県では、同センターをはじめ、九州大学や産業技術総合研究所水素材料先端科学研究センター（HYDROGENIUS（ハイドロジーニアス））※₅と連携し、水素エネルギーの開発促進、水素エネルギー新産業の育成・集積を図ってまいります。

※1：福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）

「研究開発」「社会実証」「水素人材育成」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」を柱とした福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議のプロジェクト。

福岡水素エネルギー戦略会議は、水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。2012年4月26日現在、655企業・機関が会員として参加。会長は、新日本製鐵株式会社 岩城正和（いわき まさかず）代表取締役副社長。

※2：公益財団法人水素エネルギー製品研究試験センター

【名称】

和文 公益財団法人水素エネルギー製品研究試験センター

英文 Hydrogen Energy Test and Research Center

略称 HyTReC

【所在地】

〒819-1133 福岡県糸島市富 915-1

【設立年月日】

平成21年3月6日

【目的】

水素エネルギーの開発促進、水素エネルギー新産業の育成、集積により、福岡県の産業の活性化と県民生活の質的向上を目指す

【基本財産】

170百万円（福岡県 150百万円、寄付金 20百万円）

【事業】

- (1) 水素エネルギー関連製品の製品試験事業（試作品等に関する製品試験）
- (2) 水素エネルギー関連製品の研究開発事業（製品開発、製品試験方法の開発）
- (3) 水素エネルギーに関する研究交流事業（セミナー・研修の開催）

【代表者】

理事長（兼センター長）：渡邊 正五（わたなべ しょうご）

※3：イノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」

企業等による先端技術の実証・評価等のための設備の整備又は開発に対する補助を行うことにより、東日本大震災や円高等の影響による企業の事業環境の悪化等を原因として急速に縮小している研究開発投資の促進を図り、新技術の実用化を加速することで、“震災からの復興”と“新たな成長”を実現することを目的として、経済産業省が実施する補助事業。

※4：2015年燃料電池自動車普及開始に向けた共同声明

2011年1月13日、自動車メーカー及び水素供給事業者13社は、燃料電池自動車の量産車を2015年に東京、愛知、大阪、そして福岡の4大都市圏を中心とした国内市場に導入し、一般ユーザーへの販売を目指すことを発表。



※ 導入以降、全国的なFCV導入拡大と水素供給インフラの整備に取り組む

水素供給インフラの先行整備のイメージ図

※共同声明プレスリリース

(<http://www.meti.go.jp/press/20110113003/20110113003.html>) より

※5：産業技術総合研究所水素材料先端科学研究センター

水素エネルギー社会構築に向けた水素の安全利用技術を確立しつつ、大容量の水素のコンパクトな輸送・貯蔵を実現するための基礎的・科学的知見の深化を目的として、平成18年7月1日、九州大学内に設立。

「福岡水素戦略」 (ハイ・ライフプロジェクト)

○ 推進組織：福岡水素エネルギー戦略会議

- ・ 全国有数の水素関連企業等が結集して、2004年8月3日に発足
- ・ 会長： 岩城正和 新日本製鐵(株)代表取締役副社長
- ・ 会員数：655 (平成24年4月26日現在。企業511, 行政・研究機関・支援機関35, 大学関係者109)

○ 主な活動

- ・ 研究開発：世界的研究機関(産業技術総合研究所『水素材料先端科学研究センター』, 九州大学)を中核とした水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した各種研究開発の推進
- ・ 社会実証：「水素タウン」、「水素ハイウェイ」など、新技術を実社会で活用する先進的な社会実証の推進
- ・ 人材育成：全国で唯一の『福岡水素エネルギー人材育成センター』
- ・ 世界最先端の水素情報拠点の構築：
世界との協調・競争を優位に進める情報交流拠点の構築
- ・ 水素エネルギー新産業の育成・集積：
研究成果の社会還元による水素エネルギー新産業の育成・集積

